

# 子どもたちが 実り の【秋】 を満喫。

## スポーツの秋 運動会が盛ん！！

秋も本番を迎え、市内の幼稚園や保育園で運動会が相次いで開かれました。保護者や地域住民が見守る中、園児たちは、ダンスやかけっこなど一生懸命に取り組んでいました。

その中から、「広報那須烏山」では、いくつかの園の運動会の様子をご紹介します。



いきいきクラブ連合会

### 運動会でさわやかな汗流す

大勢のお年寄りが参加した運動会。

市いきいきクラブ連合会 烏山支部では、10月8日(火)、烏山体育館で運動会を開き、約300人のお年寄りが身体を動かし、さわやかな汗を流しました。

チームは、烏山・境・向田・七合の4つ。ジャンケンリレーや輪投げ、ボール遊びなど仲間と協力して競う姿

に、外野からは、「頑張れ」、「あと少し」と応援する声が飛び交い、盛り上がりを見せていました。

また、7日(火)に南那須支部で、レクリエーション大会が開かれ、約300人がわきあいあいと交流を深めました。



①②七合保育園／③④すくすく保育園／⑤⑥にこにこ保育園／⑦⑧つくし幼稚園／⑨⑩烏山聖マリア幼稚園。

## 鳥山小の児童が 稻刈りを体験

烏山小学校5年生98人の児童が  
9月26日(金)、総合学習の一環で、岡  
崎新一さん(神長)の田んぼで、稲刈  
りを体験しました。

米の大切さを知つてもらいたい」と話していました。

た園児たちからは満面の笑みがこぼれていきました。

もいたようです



慣れない手つきで稲を刈り取る(鳥山小5年)。

子どもたちに収穫の喜びを体験してもらおうと、市内の青年農業者で結成される青少年クラブ協議会（船山瑛子代表）が管理する大桶の畑で、保育園や幼稚園などの園児を招待し、サツマイモ掘りを行いました。



大きなサツマイモをゲット！（七合保育園）。

## 青少年クラブ協議会 園児とサツマイモ掘り

## 七合保育園児が サツマイモ掘りに挑戦

市農業委員会（小森茂会長）では、10月7日（火）、遊休地耕作実践活動として、同委員会が管理する野上の畑に七合保育園の園児43人を招待し、サツマイモ掘り体験を行いました。

これは、園児たちに体験を通して収穫の喜びや自然に触れてもらうために毎年開かれているものです。園児たちは、同委員から掘り方を教えてもらいながら自分の手により何倍も大きななサツマイモを一生懸命に掘っていました。



みんなで力を合わせて(にこにこ保育園)。

収穫に感謝を込めて  
鳥山小でおいもまつり

10月15日(火)、烏山小2年生によろ  
「おいもまつり」が烏山小で開かれ、  
神長ボートクラブ(斎藤照雄会長)や  
同校の1年生などが招待されました。

「おいもまつり」が烏山小で開かれ  
同校の1年生などが招待されまし  
た。おもまつりは、同校の2年生が



手作りのサツマイモ料理が大人気(鳥山小2年)。

トジリや餌わがねりもつば

こども館では、10月15日㈬、未就学児の親子を対象とした子育て支援事業「ひまわりきつず」が開かれ、親子17組36人が阿相りんご園でりんご狩りを楽しみました。

こども館では、10月15日(火)未就学児の親子を対象とした子育て支援事業「ひまわりきつず」が開かれ、親子17組36人が阿相りんご園でりんご狩りを楽しみました。

当日は、家庭教育オーピニオンリーダーたちと一緒に踊りや手遊びをした後に、りんごを試食しながら自己紹介なども行われ、わきあいあいとした和やかな雰囲気に包まれていました。そして、メインイベントのりんご狩り体験では、木にたわわに実った赤いりんごに子どもたちは大はしゃぎ…。大きなりんごを小さな両手で一生懸命にもぎり採っていました。



真っ赤なりんごを両手でもぎ採り！



千葉さんのトークショー。



交流会の幕開けとなった開会式(おりんさん(右))。



宮路オサムさん。



杏しのぶさん。



岡崎二朗さん。



扇ひろ子さん。

た。また、千葉さんの発案により、来年度  
3月の豊島区全小中学校の卒業式で  
鳥山和紙を使用した卒業証書を初めて  
発行することが報告されました。

トーケンショーでは、千葉さんが興味を持った「和紙文化」をテーマに、大谷吉長や福田製紙所の福田長弘さんと、良山和紙の素晴らしさなどが語られました。また、千葉さんの発案により、来年3月の豊島区全小中学校の卒業式で、烏山和紙を使用した卒業証書を初めて発行することが報告されました。

当日は、豊島区交流のきっかけとなつた「おりんさん」と本田實恵子さん（熊田出身）を皮切りに、杏しのぶさん（オヨネーズ）、岡崎二朗さん、扇ひろ子さん、宮路オサムさんによるコンサートや俳優の千葉真一さんによるトークショーで会場を盛り上げました。

市では、東京都豊島区との防災協定を締結10年目を迎え、新たな交流を進めると、10月25日(土)、烏山公民館で「親光交流フェスティバル」を開き、地域住民約300人が交流を楽しみました。

# 豊島区×那須烏山市 観光交流 フェスティバル

自分で作った募金箱で街頭募金にチャレンジ。



# 街頭募金ボランティア

**手作り募金箱で  
街頭募金**

小学生向け「ボランティア入門・体

駿講座の一環です。

では、赤い羽根募金活動期間中の10月25日(土)、市内のスーパー・マーケットで、街頭募金活動をしました。これは、ボランティア活動に対する理解を深め、地域で自分たちにもできることに気付いてもらおうと、同会が昨年から開いている

「研講座」の一環です。  
当日は、8月に開かれた募金箱  
作りに参加した小学生と地域福祉  
活動助成団体等36人が手作りの募  
金箱で街頭募金に挑戦。子どもた  
ちは、大きな声で一生懸命に募金  
を呼びかけました。

給食と一緒に食べたり、それぞれの学校の運動会で披露したダンスなどの発表をしたりと様々なイベント

この活動は、毎年、両校合同で開催されている陸上競技大会の後に初めて行われたもの。交流会では、給食と一緒に食べたり、それぞれの学校の運動会で披露したダンスなどの発表をしたりと様々なイベント

来年度の下江川中と荒川中の練合にあたり、江川小と荒川小の児童同士で交流を深めようと、10月3日(金)、江川小学校で交流活動が行われ、両校の5・6年生154人が参加しました。

で交流を深めました。特に、○×クイズでは、両校に関する問題を出し合い盛り上がりをみせました。

江川小6年の本多力也さんは、「荒川小の友達とたくさん話すことができ、楽しく過ごせた」と話しました。



○×クイズ  
で交流する  
児童。

## 市指定無形民俗文化財

# 「熊田太々神楽」と「興野さら獅子舞」

市指定無形民俗文化財「熊田太々神楽」が、10月12日(日)、熊田西公民館で披露されました。

熊田太々神楽は、明治10年代にこの地域に伊勢神宮の結社が組織され、地元の2人の神官が、伊勢神宮で学んだ舞を地元の有志に教えたのが始まりといわれています。かつては、熊田太々神楽は会員の長男のみによる口伝秘法で受け継がれていました。

後継者不足が問題となつてから機運が高まり、熊田太々神楽保存会を中心に技術を伝承し、地元住民に愛され受け継がれています。

当日は、31ある舞のうち、総禮舞や住吉舞、神楽舞の中心となる岩扉正開舞など7舞が披露されました。舞の途中では道化も登場し、そのコミカルな動きに会場に集まつた観客からは大きな笑いが起きました。また、今年は熊田太々神楽保存会から参加者の皆さんへ「まき餅」が行われ、にぎわいました。

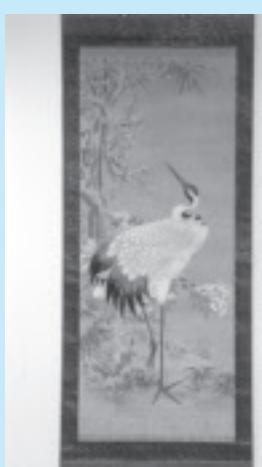
◇  
10月19日(日)には、市指定無形民俗文化財「興野さら獅子舞」が、興野集会所と日枝神社で行われ、多くの地域住民が伝統ある舞を楽しみました。

興野さら獅子舞は、約18年



上:熊田太々神楽／下:興野さら獅子舞。

## 市の文化財 第43回



### 鶴の図 (個人蔵)

市指定文化財

鳥山仲町出身の南画家牧野牧陵の作品です。明治10年(1877)、画家として円熟期を迎えた牧陵が73歳の時に描いたもので、傑作の一つと言われています。

絵画は、縦約140cm、横約60cmの画面に天空に向かって背伸びをして友を呼ぶ雄鶴が中央に大きく描かれ、周囲には竹や梅などの植物の絵が緻密に描かれています。

牧陵が描いた作品としては数少ない密画(細かい部分まで緻密に描いた絵)で、本格的な南画の風格が漂っています。



栃木県音楽中央祭の予選となる、第9回南那須地区音楽祭(同実行委員会主催)が、9月30日(火)、烏山小学校体育館で開かれ、同開会式では、実行委員会会长の池澤進市教育長が、「日頃の練習の成果を十分に発揮し、思いっきり表現してください」とあいさつ。県内高等学校の音楽教諭4人が審査する中、児童生徒などは合奏や合唱を発表しました。同地区からは、次の学校が同中央祭に出場しました。  
【小学校】▽合唱・馬頭、烏山  
▽合奏・馬頭西、江川、荒川  
【中学校】▽合唱・烏山、荒川  
▽合奏・烏山、荒川

「日々勉強だ」と話す大橋さん。



宮原の大橋敏郎さんが平成24年5月に出版した論文「論説と俳句（みわ街道）」の一節が、イタリアワインなどに使用されるアートラベルとして選ばれました。

平成24年12月にイタリア文化会館（東京都千代田区）にて、日伊の芸術友好を深めることを目的として開催された「ワインと豊穣の神」

バッカス・アートラベル展（日伊饗宴アートプロジェクト委員会主催）で日伊友好アートラベル絆賞を受賞。

イタリアワイン「Convivio（饗宴）」のアートラベルの一つとして起用するとともに、イタリアのワインメーカー「チエリネーゼ社」に永久収蔵されました。また、

今年9月に、フランスのベルシー

東洋人の自然に対する考え方を論じたもの。その内容が神話のような世界観を感じさせ、鑑賞者の心に余韻を与える物語性の強さと優れた作品構成が高く評価されました。

た。

今年で90歳を迎えた大橋さん。美術館で行われた「ミレー生誕200周年記念芸術祭（久遠の栄光祭実行委員会）」でも、ミレーの功績をたたえた日本酒「誉の杯」のアートラベルとして選ばれ、Paris

10月25日㈯、野うさぎくらぶ（天口和美代表）による「ジョイント秋祭り」が行われました。

た。

ジョイ（楽しむ）、うんと（たくさん）を掛け合わせ名づけた同祭。会場の南公民館には、大勢の家族連れが来場し、那須烏山市婦人会と一緒に団子づくりや那須烏山尺八愛好会による演奏会などを楽しみました。

また、5月には、続編の「論説・唐詩・俳句（続・みわ街道）」を出版しており、こちらの作品も期待が寄せられています。

同美術館に永久収蔵されるなど、世界の中でも芸術に優れるヨーロッパで数々の功績を残しました。

また、さらに、受賞に伴い、ラベルがお昼には、同婦人会による手作りの団子とけんちん汁に舌つづみ。た。

住の音楽家岡倉ゆかりさんによる「けんちん汁」も振る舞われ、午前中に作った団子とともに

## 論文の一節がワインのラベルに

宮原の大橋さん



ハチマキつけて準備万端！(市民運動会より)。

## まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みんなからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当  
☎0287-83-1112



さわやかな汗を流しながら清掃する会員たち。

10月18日㈯、市シルバー人材センターによる奉仕作業が行われ、会員106人が参加しました。この活動は、シルバー事業の普及を目的とした全国一斉「シルバー人材センター普及啓発促進月間」に合わせて、会員等が地域の美化活動推進のためにと毎年行っているものです。

当日は、午前8時頃から、市役所周辺、清水川せせらぎ公園の草刈や清掃をしました。その後、午後からは南那須公民館で保健師による「健康管理講習会」が開かれ、健康について学びました。

## 地域の美化を目指して清掃

10月18日㈯、市シルバー人材セ

ンターによる奉仕作業が行われ、

会員106人が参加しました。

この活動は、シルバー事業の普

及を目的とした全国一斉「シル

バー人材センター普及啓発促進月

間」に合わせて、会員等が地域の美

化活動推進のためにと毎年行つ

いるものです。

## 野うさぎくらぶ「ジョイント秋祭り

## みんなでつながるお月見イベント

10月25日㈯、野うさぎくら

ぶ（天口和美代表）による「ジョ

イント秋祭り」が行われまし

た。

ジョイ（楽しむ）、うんと（たく

さん）を掛け合わせ名づけた

同祭。会場の南公民館には、大

勢の家族連れが来場し、那須

烏山市婦人会と一緒に団子づ

くりや那須烏山尺八愛好会に

よる演奏会などを楽しみまし

た。



手作りの団子とけんちん汁に舌つづみ。

### 第3回「大和久福祉会祭」

## わきあいあいと地域と交流を深める

10月5日(日)、大和久福祉会を会場にして大和久福祉会祭が行われました。

同祭は、地域の皆さんへ日頃の感謝を込めて楽しんでもらおうと企画されたもので、今年で3回目を迎えます。

当日は、あいにくの雨で、予定していたダンスや地域芸能などの発表は中止を余儀なくされましたが、



『けんちん汁』が大人気。

### 興野農産物直売所 「新そばまつり」大盛況

興野農産物直売所(船橋一夫代表)では、10月26日(日)、今年で16

回目を迎える「新そばまつり」を開き、早朝から大勢の買い物客が訪れ、にぎわいを見せました。

当日は、新鮮野菜や農産物加工品、杵つき餅などが販売されたほか、「サツマイモ掘り」など盛りだくさんのイベントが行われました。

特に、新そばと地元産野菜をふんだんに使った「けんちん汁」は、体が温まり、おいしいと好評。用意された500食分の「けんちん汁」は昼前には売り切れるほどの大盛況ぶりでした。また、かぼちゃの重さあてク

施設内で行つた各種模擬店では、「パン」や「やきそば」など手作りの料理が販売され、施設利用者やその家族などにぎわいを見せました。そのほか、毎年恒例の黒須千鶴さん、岡倉ゆかりさんの演奏会では、利用者と職員がリズムに合わせダンスを披露するなど、楽しいイベントに施設内は笑顔があふれていました。



多くの人々でざわう会場。

## 南大和久の佐藤佑司さん マロニエ県庁コンサートに出演

佐藤佑司さん(南大和久)が、9月

17日(水)に栃木県庁で開かれた、第

3回「あしがんマロニエ県庁コン

サート」に出演しました。

声楽を学んだ佐藤さんは、現在、

那須烏山うたごえ喫茶の代表を務め、毎年、歌に関する会などを開催し、歌の指導や歌うことの楽しさを

を広めています。

コンサート当日は、宇都宮短期

大学音楽科講師の阿久澤正行さんとのピアノ伴奏のもと、県民の歌など10曲余を披露。日本語、そして日本語の叙情歌の奥深さや素晴らしさを観客に伝えました。



美声で観客を魅了する佐藤さん(写真中央)。

## 高野さんが100歳を迎える

興野の高野ミサオさんが、10月15日(火)、100歳を迎えた。大谷範雄市長から花束などが手渡されました。

現在、医療施設で療養中の高野さん。90歳までは自転車に乗つて買い物や近所の友人の家に出かけたり、自宅の庭の手入れをしたりと、とても活動的

だったようです。

お祝いには、娘や孫などが駆けつけ、「おめでとう」という言葉とともに笑顔にあふれ、あたたかい雰囲気に包まれていました。



家族や担当医、市長にお祝いされる高野さん。

手作りの味を堪能しました。  
また、午後からは、那珂川町在音色に参加者は心休まる癒しのひと時を過ごしました。



## 鳥山公民館の玄関に 自動ドアが寄付されました



社会福祉の充実を目指すNPO法人全国自動ドア産業振興会(吉原利美理事長)から、鳥山公民館の玄関に自動ドア装置1台が寄付されました。

市的人口 2014.10.1現在  
( )対前月比  
人口 27,421(-47)  
男 13,526 女 13,895  
出生 10 死亡 36  
転入 44 転出 65  
世帯数 9,609

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 編集後記

○朝晩の冷え込みがつらい時期になってしまったね～。みなさんは体調など崩していませんか？私はまんまと風邪を引いてしまい、頭痛に腹痛に熱のオンパレード…。せっかくの3連休もほとんど布団の中で過ごしました。子どもの頃は寝たらすぐ治ったのに大人になるとなかなか治りにくくなるんですね…。みなさんも風邪が流行っているようなので気をつけてください！

○ところで、最近、一時期よりガソリンが少しずつ安くなっているよう？それでも150円台…。私は少しでも安く済ませたくてセルフのスタンドでガソリンを入れているのですが、最初は緊張のあまり、近くにいた店員に「レギュラー満タンで！」とドヤ顔で言ってしまったことが…。

○隣にいた友人は爆笑、そして対応してくれた店員は失笑。セルフの意味をよく考えれば良かったなあ…。

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

鳥山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

### ●一般図書●

『嚙下障害のことがよくわかる本』

藤島 一郎

『1分のツボ押しで「老眼」は回復する!』

福辻 鋭記

『共働きごはん』 上田 淳子

『絵手紙の年賀状2015年版』

絵手紙いづみの会

『アイネクライネナハトムジーク』

伊坂 幸太郎

『昨日のまこと、今日のうそ』宇江佐 真理

『一人っ子同盟』 重松 清

『フォルトゥナの瞳』 百田 尚樹

『かぼちゃ小町』 和田 はつ子

### ●児童図書●

『はじめての日本国憲法』青井 未帆

『世界の妖怪大百科』学研教育出版編集

『超カンタンけん玉教室』日本けん玉協会

『絶叫学級』 いしかわ えみ

『ベタベタかめん』あきやま ただし

『きみはぼくだね』 かさい まり

『きのこほいくえん』 のぶみ

『きらきらは・は・歯』 室井 滋

『あめのひえんそく』まつお りかこ

### ●CD●

『今から親指が消える手品しまーす。』

GReeeN

『sakanaction』 サカナクション

『HEART20th』 TOKIO

『SUPERNAL LIBERTY』

水樹 奈々

『TRAD』 竹内 まりや

『オールタイム・ベスト オリジナル』

中森 明菜

『落語入門』三代目 三遊亭 金馬ほか

『エスキイプ』 マイケル・ジャクソン

川柳

篠崎 醇月選

新米や益子の碗にてんこ盛り  
伊藤 博志(田野倉)

復興は遅々たる歩み秋暑し  
高野 良子(下川井)

稻雀アキュムの腹を通りけり  
伊東 澄子(中央)

コスモスの倒れ咲きをり無人駅  
小針 久子(月次)

書かねばと思ひ忘れる日記帳  
宮嶋 トキ(金井)

あの手この手なかなか取れぬ風呂の微  
川俣登志子(旭)

海鳴りといひきの混じる旅の宿  
石川 義郎(興野)

晴れわたる運動会も里の秋  
船山 栄一(熊田)

作品募集  
毎月10日までに、総合政策課広報統計担当  
(〒321-10692那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

青春と友は旅に舞踊に  
水上キヨ子(志鳥)

空天翔る  
柳 つしま(中央)

廃校の青垣の園懐古さる校歌の声は  
三森 純子(中央)

乙女らの語りし夢を内に秘め大櫻は  
吉澤 紅月(南)

残る廃校の庭に  
福澤 悅子選

文艺

# 多彩な催しで子どもたちの笑顔広がる

こども館では、10月19日(日)、「こども館まつり」を開き、600人を超える家族連れや子どもたちでにぎわいました。

当日は、秋晴れの空の下、市内15のボランティア団体などの協力により、様々な催しが繰り広げられました。特設テントでの団子作り体験では、親子一緒になって仲良く挑戦する姿がみられ、和やかな雰囲気に包まれていました。

また、野外に設置されたラッコ

のエアートランポリンには、長蛇の列ができるほどの人気ぶり…。



①

## 第6回山あげ祭写真コンテスト 山あげ会館で開催中

市観光協会(佐藤邦行会長)による、「山あげ祭写真コンテスト」の入選作品の作品展が、山あげ会館2階展示室で開かれています。

応募作品は127点にものぼり、その中から、特選「那須烏山市観光協会長賞」には、福田英幸さん(那須塩原市)の「炎天下将門熱演」、準特選には、篠崎勤さん(宇都宮市)の「山あげ祭、眞の主役達」と富永明さん(宇都宮市)の「絶世の美女現れる」が選ばされました。

作品展は、応募された全作品が展示され、来年3月末まで行われます。(入館料1人250円、火曜定休日、開館時間：午前9時から午後4時まで)



△特選  
「炎天下将門熱演」。



△準特選  
「山あげ祭、眞の主役達」。



△準特選  
「絶世の美女現れる」。

ると、握手をしたり写真を撮ったりして触れ合いました。さらに、「焼きそば」「フランクフルト」「手作りパン」なども販売され、お昼までには、ほぼ完売するほど盛況でした。

そのほか、館内では、絵本の読み聞かせやバルーンアート作り体験、食育クイズなど親子で楽しめるイベントが盛りだくさん。会場は、終始子どもたちの笑顔が広がっていました。



②



③

## 有料広告

**アドペーパー**

発行部数 **30,000部**

掲載料金  
1枚 8,000円～

那須烏山市・那珂川町・茨城県の一帯 認識読者 16,200部 ラック読者 10,000部 法人会員数 3,800社

株式会社アド・ワークス

那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

0120-03-8633

HPを  
見て  
見る

アドワークス 那山 検索